



## 審査結果報告書

2022 年 1 月 26 日

主査 氏名 神谷 健太郎 

副査 氏名 高橋 香世子 

副査 氏名 天野 暁 

副査 氏名 上 出 通人 

1. 申請者氏名 : DM17020 角田 賢史

2. 論文テーマ :

地域に在住する慢性期脳卒中後患者の生活空間の経年変化に影響を及ぼす因子の検討

3. 論文審査結果 :

本研究は、地域に在住する脳卒中後患者の生活空間の経年変化を捉えたうえで、それに影響を及ぼす因子を明らかにすることを目的とした有意義な臨床研究である。

脳卒中後患者は非脳卒中者と比べて生活空間が低下していることが指摘されており、先行研究では、脳卒中後患者の生活空間は歩行速度、ADL、転倒恐怖感、および抑うつ症状と関連することが報告されている。しかし、これらの報告はいずれも横断調査のみであり、脳卒中後患者の生活空間の経年変化は明らかになっておらず、生活空間と歩行速度、ADL、および認知・心理的因子との間の因果関係については未だ十分な検討がなされていない。

慢性期脳卒中患者 89 名を対象として解析を行った結果、地域に在住する脳卒中後患者の生活空間は経年的に低下し、さらに年齢と快適歩行速度が経年変化に影響することが明らかになった。

本研究で明らかとなった知見は、脳卒中後患者の生活空間の低下に対する適切な介入を考えるうえで有用な研究である。本研究の臨床的意義は高く、博士号の学位に値すると判断された。